

研修報告書 No.8

研修先： 土佐市立土佐市民病院

2021年2月1日から2月26日まで、土佐市立土佐市民病院で研修をさせていただきました。

土佐市には初めて訪れましたが、晴天の日が多く、街並みに溢れる木々や遠くに見える山々などの自然が色鮮やかに視界を彩ってくれるので、心が癒されつつ毎日を過ごしていました。スーパー、飲食店、ホームセンターなど日々の暮らしに必要なお店が徒歩圏内に揃っており、高知市にもバス1本で移動できるなど、不便さに悩むこともなく楽しみながら一か月の間、生活することができました。特に、高知で食べたカツオのたたき定食は、カツオがお皿にたくさん乗っていて、とても贅沢だったと、記憶に残っています。

土佐市民病院の研修では、外来医として患者さんを診察したり、入院中の患者さんの治療方針を決めたり、病院内で行われている検査を見学したり、自分が気になった事柄について学習したりと、自分の病院に戻った時に研修医の同期のみんなに自慢できるような、有意義な時間を過ごせました。

今まで、救急医療や病棟の患者さんの診察をしたことはありましたが、外来医として診察をした経験は少なく、初めの頃は自分にできるのだろうかと不安に思う気持ちもありましたが、土佐市民病院の先生方は大変丁寧に、そして優しく指導をしてくださり、スムーズに診察から検査・治療方針の決定まで行うことができました。自分から上級医の先生へは質問をしやすく、上級医の先生が何か気になる点があるとその都度、自分へ指導をしてくださるという、理想的な環境に身を置くことができました。1ヶ月の研修が終わる頃には、外来に関しても数多くの知識と少しばかりの自信を持って取り組むことができていると思います。外来で診察した中で、自分が入院を決めた患者さんについては、上級医の先生とともに担当医として治療方針を一緒に考えました。ここでも先生方は自分の稚拙な質問に対して、忙しい時間を割いて指導をしていただき、大変貴重な経験となりました。

また、普段なら学ぶ機会の限られている診察や検査の数々を、全てこの1ヶ月間で学ぶことができました。自分がいた元の病院では循環器内科でしか学べないような心エコーや心疾患の加療、消化器内科でしか学べない腹部エコーや内視鏡やERCP等の検査、外科でしか学べない手術や縫合処置、小児科でしか学べない小児の診察、放射線科でしか学べないCTやMRI画像の読影、大学病院では学ぶチャンスがなかった人間ドックの結果説明など、挙げたらキリがないほどです。とても贅沢な経験になりました。おそらく、高知で食べたカツオのたたき定食より贅沢だったと思います。

上級医の先生と共に当直業務にも携わり、救急車で運ばれてきた重症の患者さんへの治療から、家で転倒した軽症の患者さんへの処置まで、幅広い診療を学ぶことができました。

1ヶ月のうちの半日を利用して、市内のクリニックでの往診や外来を見学して学ぶ時間もいただきました。普段の大学病院では、退院した患者さんの、その後の様子を知る機会がありませんでした。患者さんと世間話も交えながら生活と病状に寄り添いつつ診察に従事する、往診医としての先生の診察を間近で見学できたのは、自分の今後の診察方法を向上するうえでも、とても良い機会だったと感じます。

1ヶ月という短い期間でしたが、高知に来る前と比べると明らかに自分が成長しているな、と感じることのできる、充実した研修生活を送ることができました。土佐市民病院で得られた経験をもとに、今後も研鑽を積んで参りたいと思います。

このような機会を与えてくださった高知県および高知医療再生機構の方々、丁寧に指導をくださった土佐市立土佐市民病院の先生方や医療スタッフの方々、自分に関わってくださった全ての皆様に感謝を申し上げたいと思います。

1ヶ月間、ありがとうございました。